



山の緑を 火災から守ろう！

山火事はいったん発生するとその消火は容易ではなく、一瞬にして貴重な森林を焼失してしまいます。

これから暖かくなるにつれ、山に入る機会も多くなりますが、特に空気が乾いている日や風が強い日には、たき火や野焼きをしないなど、火の取り扱いには十分な注意をしましょう。

京都市では、令和4年の山林火災は2件でした。



たばこの後始末は確実に！

やむを得ずたき火をする場合は、そばを離れず、消火の準備をしてください。

空気が乾燥していたり、強風時には、たき火はしないでください。

京都市内では、令和4年中に91件の山岳救助事故が発生し、道迷いが要因となったのは30件ありました。

負傷者、道迷い者等を発見された場合は、御協力をお願いします。



©京都市消防局

北消防署・北消防団